

ぐるめ散歩

天ぷら

つきじ天六

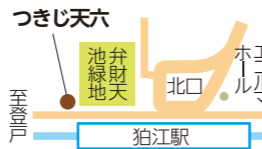
つきじ天六は天然物の新鮮な魚介類や野菜の天ぷらと刺身や煮物などの季節料理を落ち着いた雰囲気の中で味わえる市内唯一の天ぷら専門店。

「泉の森膳」など3種の天ぷら御膳は天ぷらに加え、小鉢やデザートが付く、ボリュームもたっぷり若者から年配者まで幅広い人気を集めている。コース料理のほか、日替わりのお好み天



西山さん

☎3430-6800 元和泉1-8-12-1F 営業=午後5時～8時/テイクアウト午前11時～午後2時、5時～7時 水曜休み(年始は7日休から)



新鮮な天然物の魚介類使ったこだわりの天ぷら

塩や宮古島の雪塩など、好みの味で楽しめる。

以前は成城学園前駅前で営業していたが、平成15年に狛江駅前へ移転。カウンターとテーブル合わせて31席を新型コロナウイルス感染

症防止対策のため、夜の部の席数を半分程度に減らして営業している。また、ランチタイムはテイクアウトのみとし、夜もテイクアウトに依っている。西山さんは「おいしさが増す冬の魚介類を味わってください。また、来店の際はなるべく予約を」と話している。

予防対策のため、夜の部の席数を半分程度に減らして営業している。また、ランチタイムはテイクアウトのみとし、夜もテイクアウトに依っている。

西山さんは「おいしさが増す冬の魚介類を味わってください。また、来店の際はなるべく予約を」と話している。

おすすめMENU

泉の森膳¥5,100 / 天六膳¥4,000(写真) / 松の膳¥3,000 / 天ぷら盛り合わせ・雪コース¥4,000 / 同・月コース¥2,850 (税込)



冬の風物詩であるイルミネーションが狛江駅の北口と南口のロータリーに点灯、道行く人の目を楽しませている。狛江市観光協会が実施しており、今年で6回目。昨年まで狛江市役所市民ひろばで行われていたが、市制施行50周年を記念し、多くの市民に楽しんでもらおうと場所を変更しデザインも一新した。

12月16日(日)に南口ロータリーで催された点灯式では白井昇観光協会会長と松原俊雄市長がスイッチを押すと華やかなイルミネーションが夜空を彩った。2人は「新型コロナウイルス感染症で暗くなりがちな街と人の心が明るくなれば」と話していた。

イルミネーションは2月14日(日)まで毎日午後5時から8時まで点灯される。

プロのアーティストを支援文化芸術活動支援奨励金

狛江市文化振興事業団が、狛江市文化芸術活動支援奨励金の応募を15日(金)まで受け付けている。

新型コロナウイルス感染症防止対策によって活動が制限されているプロのアーティストを支援するとともに、市民が文化芸術活動に触れる機会となる動画作品を配信する。

狛江市在住か狛江市を主な活動拠点にしている個人や6人以下のグループが対象。文学や音楽、美術、写真、演劇、映像、伝統芸能など幅広い分野の映像作品をYouTubeで

配信する。募集するのは80件で、送られた申請書と企画書を審査の上、1件あたり奨励金5万円を交付する。問い合わせ☎3430-4106 狛江市文化振興事業団。

観光写真コンクール 2月1日まで応募受け付け

狛江市観光協会が令和2年度狛江市観光写真コンクールの作品を2月1日(日) (当日消印有効)まで募集している。

市制施行50周年を記念して「狛江の魅力再発見」をテーマに自然と人工的な景観が調和しながら発展する狛江市の多彩な顔とその魅力を紹介した観光スポットの作品を募集する。応募はだれでもでき、フィルムカメラ、デジタルカメラのほか、携帯電話・スマートフォンの写真でも可能。応募はEメールまたは郵送・事務局窓口で受け付ける。

2月(予定)に審査を行い最優秀賞などの入賞作品を選考、3月以降に全応募作品を展示する予定。

問い合わせ・応募は狛江市観光協会事務局(狛江市地域活性課内)〒201-8585 狛江市和泉本町1-1-5 ☎03-3430-1111(午前8時30分～午後5時、土・日・祝日・年末年始を除く)、Eメール✉komaekanko@k-press.net。

詳細は観光協会ホームページ

とれたて農産物直売所

大久保哲夫さん(75)は年間30種以上の季節野菜とユズなどを栽培し自宅で直売している。



大久保哲夫さん

これからは大根、白菜、ネギなどの冬野菜とハウスで無農薬栽培するワサビ菜、水菜、カラシ菜、ルッコラのサラダセットなどを販売する。平成24年につけ物製造業の営業許可を取って作っている白菜漬けと聖護院大根の千枚漬けも人気。また、健康食品として注目

されているケールも栽培している。大手建設会社に勤めていた大久保さんは、退職してから本格的に農業を始め、8年前から野菜の直売を始めた。低農薬で安心・安全な野菜作りを目指している。昨年からの市援農ボランティア制度を活用し3人のボランティアを受け入れている。大久保さんは「採れたてのおいしい野菜を提供していきたいです」と話している。

ージのほか、市役所などで配布しているちらしを参照。

和泉多摩川駅前にシェアキッチン開設

小田急線と和泉多摩川駅の高架下にある商業施設にさまざまなジャンルの作り手が集まる飲食店「FORT MARKET」が11月24日(日)にオープンした。

狛江市と11月17日(日)に地域課題解決のための包括連携協定を結んだ(株)小田急SCディベロップメントが管理運営



シェアキッチン「FORT MARKET」

客のノウハウも学べます」と話していた。(株)小田急SCディベロップメントでは、リモートワークに対応した「サテライトオフィス」の開設も予定している。

試せるスペースとして整備され、面積約40㎡の屋内に厨房器具を完備した2つの厨房スペースがある。店舗募集などの運営は、世田谷区三軒茶屋でも同様の業態を運営している(株)なかむら商會が担当する。既にカフェ、ベーカリー、ワインバーなど7店舗が出店している。

キッチンを借りているNARUTO COFFEEの菅康平さんは「カフェを開く準備中ですが、ここは厨房設備が整い、調理器具を試したり接

客のノウハウも学べます」と話していた。

(株)小田急SCディベロップメントでは、リモートワークに対応した「サテライトオフィス」の開設も予定している。

絵手紙づくりの散策マップを発行

絵手紙を楽しみながら市内を散策するためのパンフレット『狛江市まるごと美術館「絵手紙散策マップ」』が発行された。

市では絵手紙を中心に市内全域を美術館とみ立ててさまざまな芸術作品を展示する「狛江市まるごと美術館」事業を実施している。

この一環として発行されたA5判28ページのパンフレ

ットは、平成19年度から展開している「絵手紙発祥の地-狛江」事業で実施されたさまざまな企画を紹介している。内容は、市内在住で絵手紙創始者の小池邦夫さんの作品と展示場所を紹介した「小池邦夫」絵手紙ギャラリーをはじめ、絵手紙を展示している郵便局や消防署、街角ギャラリーのある事業所、絵手紙シール、

絵手紙包装紙が利用できる店舗、絵手紙表示板、絵手紙マンホール、絵手紙ロードシートなどを掲載。歩いて絵手紙を楽しめるモデルコースや散策マップも付いている。

また、公共施設7カ所を回って消しゴムハンコを集める



絵手紙散策マップ

ひろがれ絵手紙の輪

と先着3,000人に記念品をプレゼントするスタンプラリーも実施する。『絵手紙散策マップ』は市内の公共施設などで無料で配布している。

問い合わせ☎3430-1111 地域活性課コミュニティ文化係。

謹んで新春のお慶びを申し上げます 2021年元旦

<p>株式会社 KICOM 代表取締役 水谷 建夫 狛江市和泉本町1-1-35 A 03(3)4330-6617</p>	<p>有限会社 松崎学 代表取締役 狛江市和泉1-1-13 F 03(3)4800-5551</p>	<p>株式会社 和泉園 代表取締役社長 白井 真一 狛江市和泉3-1-15 03(3)4890-0165</p>	<p>株式会社 佐藤高志 会長 狛江市東和泉1-3-18 03(3)4890-0178</p>	<p>一般財団法人 狛江市文化振興事業団 狛江エコーマホール 狛江市元和泉1-2-1 03(3)4300-4106</p>	<p>株式会社 イエステーション 狛江店 代表取締役 藤田 克彦 狛江市和泉本町1-2-18 0120(1)32103</p>
--	--	--	---	---	---